

国民健康保険保健事業の取り組み状況について

1 明石市の健康課題（第2期データヘルス計画より）

- ① 自身の健康状態の把握
- ② 生活習慣病の治療や改善
- ③ 骨折や筋力低下の予防

2 令和2年度の取り組みについて

(1) 既存事業の取り組み

① 糖尿病性腎症重症化予防事業の実施

【概要】

70歳未満の国民健康保険被保険者に対し、糖尿病性腎症重症化予防プログラムに沿って受療勧奨や保健指導等を行い、早期に医療介入することで糖尿病の重症化を予防します。

【対象者】

特定健診受診結果から下記ア～ウの基準により抽出します。

- ア) HbA1c6.5%以上
- イ) eGFR60ml/分/1.73m²以下
- ウ) 蛋白尿（+）以上

【令和2年度実績】（令和3年4月末時点）

		平成30年度	令和元年度	令和2年度
受療勧奨のみ (上記アに該当)	該当者	31人	28人	12人
	受療者	12人	5人	4人
	受療率	38.7%	17.9%	33.3%
重症化予防（保健指導） (上記アかつイまたはウに該当)	該当者	10人	10人	1人
	受療者	4人	5人	0人
	受療率	40.0%	50.0%	0%

※平成30年度から該当となった方について、最長5年間の受療確認と受療勧奨を継続して実施しています。

② 重複服薬の適正化に向けた取り組み

【概要】

同一月に複数の医療機関から同じ薬剤の処方を受けている可能性がある対象者への服薬通知（3か月分）の送付及び訪問指導の実施

【令和2年度実績】

対象者100人に対し令和3年1月初旬に通知を送付しました。

令和2年度からは、そのうち特に指導が必要と考えられる10人に薬剤師による訪問指導を実施しました。

効果検証した結果、対象者の約半数（48人）に処方変更がみられ、推定削減金額は年間で100万円以上と考えられます。

③ ジェネリック医薬品使用率向上に向けた取り組み

【概要】

ジェネリック医薬品希望カード及びシールを保険証更新の際に同封
 ジェネリック医薬品を使用した場合の差額の大きい人を対象に、削減可能額を記載した差額通知を送付

○ジェネリック医薬品使用割合（数量シェア）

	平成31年 3月診療分	令和元年 9月診療分	令和2年 3月診療分	令和2年 9月診療分
明石市	77.7%	77.2%	79.8%	80.5%
兵庫県	74.6%	74.7%	77.2%	77.9%

④ 特定健診未受診者対策

【概要】

特定健診の未受診者に対して、過去の健診の受診歴や医療機関の受診有無などで対象者のグループ分けを行い、それぞれに最も効果的と考えられる通知を5種類作成し送付しました。

グループ①…健診受診歴なし・通院歴あり グループ④…健診受診歴あり（40～64歳）
 グループ②…健診受診歴なし・通院歴なし グループ⑤…健診受診歴あり（65～74歳）
 グループ③…特定保健指導利用経験者

【令和2年度実績】

○グループ別受診率

	対象者数	受診者数	受診率
グループ①	17,406人	288人	1.7%
グループ②	3,066人	23人	0.8%
グループ③	675人	112人	16.6%
グループ④	2,374人	335人	14.1%
グループ⑤	5,417人	1,064人	19.6%
合計	28,938人	1,822人	6.3%

○年代別受診率

	対象者数	受診者数	受診率
40歳代	3,163人	114人	3.6%
50歳代	3,116人	133人	4.3%
60歳代	9,948人	677人	6.8%
70歳代	12,711人	898人	7.1%
合計	28,938人	1,822人	6.3%

(2) 第2期データヘルス計画（平成30年度～）指標の達成状況

① 自身の健康状態の把握

○がん検診受診率の向上（大腸がん検診）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（暫定）
明石市	14.2%	11.5%	11.1%
兵庫県	14.2%	16.5%	—

○特定健診受診率の向上

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（暫定）
明石市	26.1%	25.6%	22.0%
兵庫県	35.1%	34.1%	—

○特定保健指導実施率の向上

	平成30年度	令和元年度	令和2年度（暫定）
明石市	31.3%	27.6%	27.9%
兵庫県	25.4%	26.6%	—

<全被保険者への健診受診に関する周知>

- ・国民健康保険料決定通知書に健診パンフレット同封
- ・国民健康保険被保険者証送付時の案内書面の一部活用
- ・高額療養費通知書封入封筒の一部活用

② 生活習慣病の治療や改善（特定健診受診結果より）

【血糖有所見者割合の減少】（HbA1c5.6%以上の者の割合）

平成30年度	令和元年度	令和2年度（暫定）
60.4%	60.9%	51.5%

【血圧有所見者割合の減少】（I度高血圧以上の者の割合）

平成30年度	令和元年度	令和2年度（暫定）
22.9%	22.6%	25.6%

【重症化予防（新規透析患者の減少）】（人工透析患者数（うち新規患者数））

平成30年度	令和元年度	令和2年度（暫定）
147人（20人）	161人（23人）	187人（16人）

③ 骨折や筋力低下の予防

【筋・骨格系疾患医療費の減少】（疾病別医療費（入院））

平成30年度	令和元年度	令和2年度（暫定）
642,334千円	648,359千円	560,500千円

【骨密度測定者数の増加】（骨密度測定者数）

筋・骨格系疾患及び骨粗しょう症予防の取り組みを目的としたデータ集積のため、骨密度測定を実施しています。

平成30年度	令和元年度	令和2年度
1,097人	1,379人	※

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施していません。

3 令和3年度の取り組みについて

(1) 糖尿病性腎症重症化予防事業

令和2年度の取り組みを継続して実施するとともに、新規対象者への取り組み及び実施後の課題分析を行います。

(2) 重複服薬等の適正化に向けた取り組み

通知及び訪問指導について、重複服薬者だけでなく、定期的に多くの薬剤（約15種類以上）を服用している多剤服薬者に対しても対象者を拡大するなど、医薬品の使用適正化に向けた取り組みを実施します。

(3) ジェネリック医薬品使用率向上に向けた取り組み

令和2年度の取り組みを継続して実施するとともに、使用割合について引き続き増加を目指し、課題分析を行います。

(4) 特定健診未受診者対策

令和2年度の取り組みを継続して実施するとともに、県が派遣するアドバイザーから、受診率向上のための取り組みや実施体制等について支援を受けます。